

完了後の評価個表

整理番号 6-1

事業名	森林居住環境整備事業	都道府県	福井県
地区名	越前南部	事業実施主体	福井県
関係市町村	越前市、南越前町 (旧武生市、今庄町、河野村)	管理主体	越前市、南越前町
事業実施期間	H14～H19(6年間)	完了後経過年数	5年

事業の概要・目的	<p>① 位置等 当地区は、福井県嶺北南西部に位置し、東西約5km、南北約15kmにおよぶ越前市から南越前町までのホノケ山を代表とする山地に囲まれた中山間地である。</p> <p>② 森林の状況 当地区の森林面積は1,923ha全てを民有林が占め、そのうちの約45%、868haがスギを中心とした人工林となっている。</p> <p>③ 当地区を整備する目的・意義 当地区においてはこれまでに868haの人工林が造成され、森林蓄積は着実に増加しているものの、その多くは保育・除伐及び間伐等が必要な段階にある。森林所有者等の森林整備に対する意欲の低下が懸念される中で、森林の有する公益的機能の高度発揮に対する期待が高まっていたところである。 また、当地区には森林整備を効率的に実施するための基幹となる林道等の路網が十分に整備されていなかったことから、森林整備の遅れが目立っていた。 このため、森林の公益的機能の高度発揮等を目的として、整備が必要な森林への到達時間の短縮、労働力や資材の効率的な移動等により林業労働の軽減及び森林施業コストの低減を図り、適切な森林整備を促進することを目的に林道を整備した。</p> <p>(事業概要) 森林基幹道開設 越前南部線 車道幅員 4.00m 開設延長 5,122m 利用区域面積 1,923ha 総事業費 1,584,000千円(当初総事業費 2,027,800千円)</p>
----------	--

① 費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化	<p>平成25年度時点における費用対効果分析の結果は以下のとおりである。 事業計画の見直しによる総事業費の減少や、森林整備に要する費用を計上したことにより総費用が増加した。</p> <table border="0"> <tr> <td>総便益(B)</td> <td>3,132,862千円</td> <td>(事業採択時総便益 2,906,210千円)</td> </tr> <tr> <td>総費用(C)</td> <td>3,031,521千円</td> <td>(事業採択時総費用 1,936,707千円)</td> </tr> <tr> <td>分析結果(B/C)</td> <td>1.03</td> <td>(事業採択時分析結果 1.50)</td> </tr> </table>	総便益(B)	3,132,862千円	(事業採択時総便益 2,906,210千円)	総費用(C)	3,031,521千円	(事業採択時総費用 1,936,707千円)	分析結果(B/C)	1.03	(事業採択時分析結果 1.50)
総便益(B)	3,132,862千円	(事業採択時総便益 2,906,210千円)								
総費用(C)	3,031,521千円	(事業採択時総費用 1,936,707千円)								
分析結果(B/C)	1.03	(事業採択時分析結果 1.50)								

② 事業効果の発現状況	<p>林道が開設されたことで、森林施業地までの到達時間や市場までの時間短縮が図られたことにより搬出コストが低減し、利用区域内における木材搬出量が400m³/年から1,300m³/年(3.3倍)に増加した。</p>
-------------	--

③ 事業により整備された施設の管理状況	<p>事業により整備された林道は、越前市、南越前町が定めた林道規則に基づき管理され、年数回の草刈、側溝清掃等が適切に行われている。</p>
---------------------	---

④ 事業実施による環境の変化	<p>作業経費が低減され搬出間伐が進むなど、森林所有者の森林経営に対する意欲が向上したほか、森林施業地までの到達時間の短縮により林業従事者の労働環境の改善が図られた。 事業実施以降、支線林道の整備が順次進んでおり、今後もより一層の森林整備、間伐材利用が促進されると考えられる。</p>
----------------	--

⑤ 社会経済情勢の変化	<p>林道の整備により、林業労働の軽減、高性能林業機械の導入や運搬車両の大型化が可能となり、作業コストの低減化が図られ林業生産性が向上しつつある。</p>
-------------	---

⑥ 今後の課題等	<p>森林基幹道の整備が進んだことで林業生産性が向上しているが、全体計画としては完了していないため、人工林の間伐等の森林施業が十分とはいえない状況である。 今後も引き続き森林基幹道の整備を促進するとともに、作業道の整備についても積極的に推進していく必要がある。</p> <p>・地元の意見： 森林所有者の森林整備への取組や意欲は改善されつつあるが、木材価格等の低迷等により、未だ十分とは言えず、必要な間伐等が積極的に行われるようさらなるPR活動をする必要がある。(福井県)</p> <p>所有者の山林に対する意識が徐々に高まっており、地元自治会と協力して引き続き維持管理を行い、森林所有者に積極的に森林整備を働きかけていきたい。(越前市・南越前町)</p>
評価結果	<p>・必要性： 森林施業を効率的に行う基盤となる路網の整備により間伐や枝打ち等の森林整備の推進が見られることから、事業の必要性が認められる。</p> <p>・効率性： 現地に応じた工種・工法で計画が作成されるとともに、事業実施にあたって波形線形の採用による切・盛土量の抑制等コスト縮減に努め、総事業費の縮減を図っていることから、効率性が認められる。</p> <p>・有効性： 林道整備により森林へのアクセスが容易となり、作業効率が向上した結果、木材生産・森林整備が促進されていることから、今後も効果の発現が見込まれる。</p>

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名: 森林居住環境整備事業

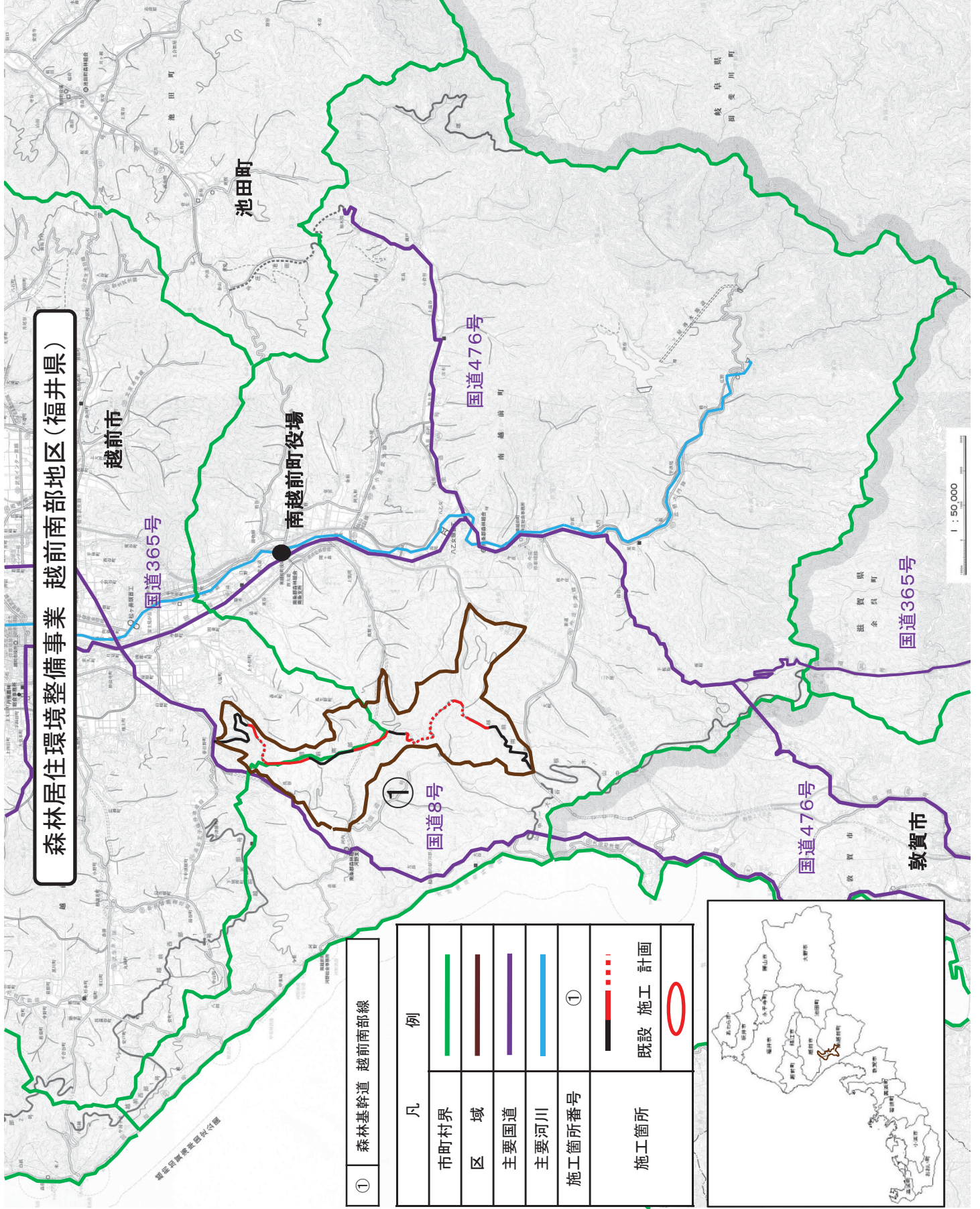
都道府県名: 福井県

地域(地区)名: ^{えちぜんなんぶ}越前南部

(単位: 千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
木材生産等便益	木材生産等経費縮減便益	185,831	
	木材生産確保・増進便益	957,702	
森林整備経費縮減等便益	造林作業経費縮減便益	79,469	
	森林管理等経費縮減便益	16,210	
	森林整備促進便益	1,615,932	
森林の総合利用便益	ふれあい機会創出便益	277,718	
総 便 益 (B)		3,132,862	
総 費 用 (C)		3,031,521	
費用便益比	$B \div C = \frac{3,132,862}{3,031,521} = 1.03$		

森林居住環境整備事業 越前南部地区(福井県)



①	森林基幹線 越前南部線
凡	例
市町村界	
区域	
主要国道	
主要河川	
施工箇所番号	①
施工箇所	

